



2025年度 Q1決算報告

2025年8月4日

日清食品ホールディングス株式会社
(証券コード：2897)

決算説明会開催日：2025年8月4日

本日のポイント

Point 1 : 2025年度Q1実績

売上収益は前期比△4.3%、既存事業コア営業利益は同△25.5%と、減収減益

➤ 国内即席めん事業 : 増収減益

日清食品は価格コンシャス品が堅調に推移し、売上収益はほぼ前年並み。資材高騰あり、減益
明星食品は主要ブランド好調、数量は前年同期比一桁後半%増、資材高騰をカバーし、増収増益

➤ 国内非即席めん事業 : 増収減益

冷凍事業及び菓子事業を主因に増収、資材高騰をカバーできず減益

➤ 海外事業 : 減収減益

米国事業中心に、円高影響も加わり、中国地域を除く全地域で減収
資材高騰及び円高影響により、為替実勢ベースでは全地域で減益

Point 2 : 足元の事業環境と今後の見通し

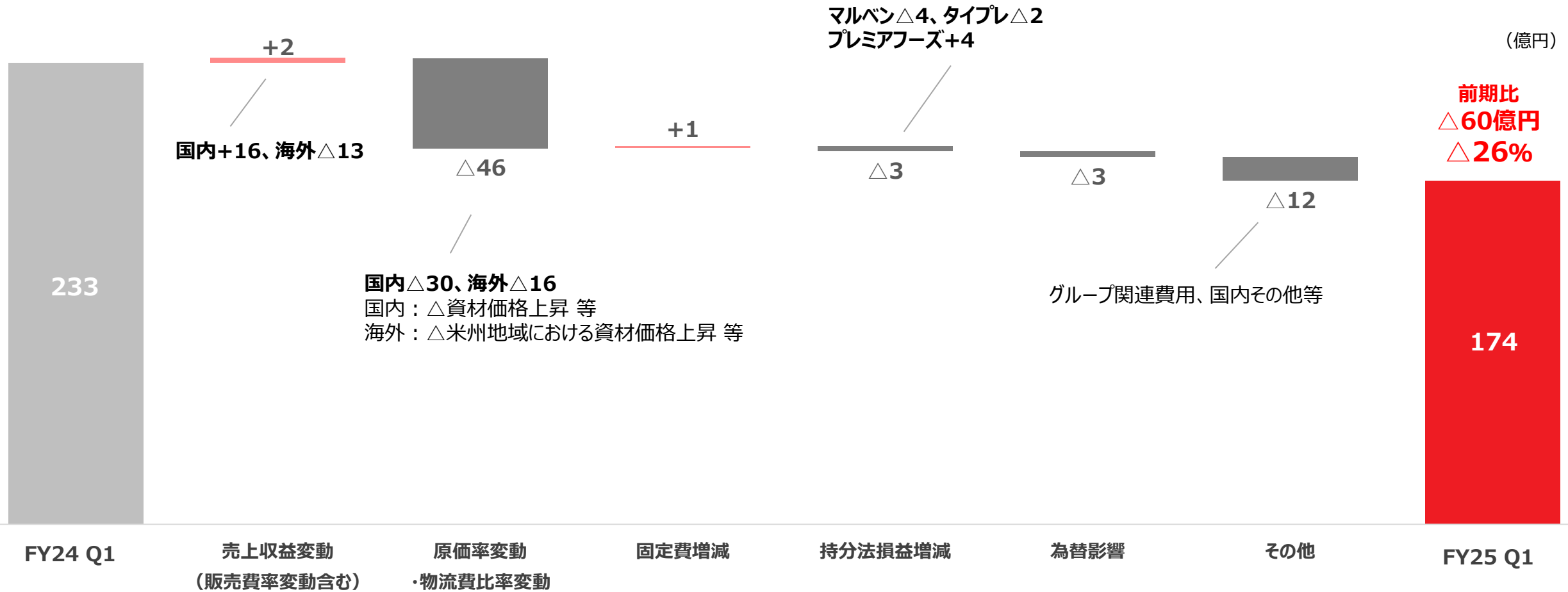
- 国内事業は、Q1概ね計画線、年間も計画インラインを見込む
- 海外事業は、米国事業での苦戦を主因に、不透明な事業環境が続く
- 資材価格は、計画インラインも、今後の関税や為替影響を注視

2025年度 Q1実績

2025年度 Q1連結決算サマリー

単位：億円	2025年度 Q1 決算開示ベース			2025年度 Q1 為替一定ベース		
	実績	前期比		実績	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
売上収益	1,770	△ 80	△ 4.3%	1,831	△ 19	△ 1.0%
既存事業コア営業利益	174	△ 60	△ 25.5%	177	△ 57	△ 24.3%
営業利益	158	△ 60	△ 27.5%	161	△ 57	△ 26.1%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	112	△ 47	△ 29.3%	114	△ 45	△ 28.0%
既存事業コア営業利益率	9.8%	△ 2.8pt		9.6%	△ 3.0pt	
営業利益率	9.0%	△ 2.9pt		8.8%	△ 3.0pt	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益率	6.3%	△ 2.2pt		6.2%	△ 2.3pt	

既存事業コア営業利益の増減要因



* 細目は前期為替一定ベース
 * 国内その他セグメント、その他連結調整及びグループ関連費用のコア営業利益増減は「その他」に含めて表示
 * 2025年度よりHDの本部費用の配賦基準と海外ロイヤリティ料率を変更したため前期の数字も遡及修正
 * 売上収益変動は、販売費率変動を含む総売上高に対する率分析のため、売上収益増減の実額とは異なることがあります

セグメント別 決算サマリー

- 国内事業は堅調に推移した一方、海外セグメントは中国地域を除き減収
- 利益は資材高騰の影響に加え、米州事業を主因に減益

国内即席めん事業

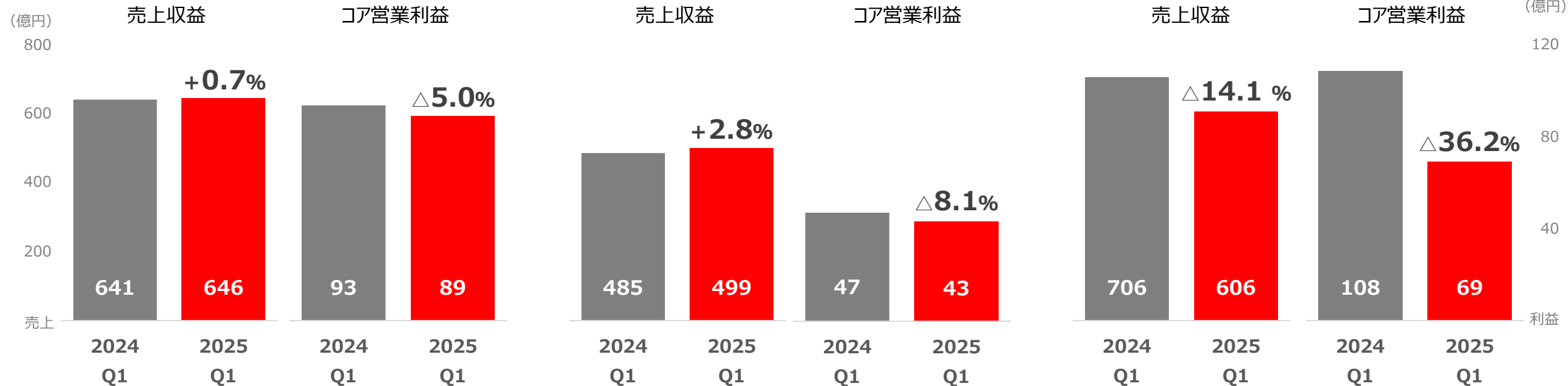
日清食品は価格コンシャス品中心に堅調。
明星食品も主要ブランド好調により増収。
コスト増をカバーできず減益

国内非即席めん事業

価格改定効果もあり、日清ヨークを除き増収。
コスト増をカバーできず減益

海外事業

中国地域を除き、全地域で減収。
主に米国事業の数量減、各地域での資材コストの増加により減益



* 2025年度よりHDの本部費用の配賦基準と海外ロイヤリティ料率を変更したため前期の数字も遡及修正

セグメント別 売上収益実績

単位：億円	2025年度 Q1 決算開示ベース			2025年度 Q1 為替一定ベース		
	業績	前期比		業績	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
日清食品	529	△ 4	△ 0.8%	529	△ 4	△ 0.8%
明星食品	116	+ 9	+ 8.2%	116	+ 9	+ 8.2%
国内即席めん事業	646	+ 5	+ 0.7%	646	+ 5	+ 0.7%
低温・飲料事業	262	+ 7	+ 2.7%	262	+ 7	+ 2.7%
菓子事業	237	+ 7	+ 2.9%	237	+ 7	+ 2.9%
国内非即席めん事業	499	+ 14	+ 2.8%	499	+ 14	+ 2.8%
国内その他	19	+ 1	+ 8.3%	19	+ 1	+ 8.3%
国内事業 計	1,164	+ 20	+ 1.7%	1,164	+ 20	+ 1.7%
米州地域	334	△ 86	△ 20.5%	378	△ 42	△ 10.0%
中国地域	167	+ 2	+ 1.4%	180	+ 15	+ 9.2%
アジア地域	51	△ 9	△ 15.7%	53	△ 7	△ 11.8%
EMEA地域	55	△ 7	△ 10.8%	57	△ 5	△ 8.0%
海外事業 計	606	△ 100	△ 14.1%	667	△ 39	△ 5.5%
連結 計	1,770	△ 80	△ 4.3%	1,831	△ 19	△ 1.0%

* 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づく

* 「国内その他」には新規事業も含む

セグメント別 コア営業利益実績

単位：億円	2025年度 Q1 決算開示ベース					2025年度 Q1 為替一定ベース		
	営業利益	その他 収支	コア営業利益	前期比		コア営業利益	前期比	
				増減額	増減率		増減額	増減率
日清食品	76	△ 0	76	△ 7	△ 8.9%	76	△ 7	△ 8.9%
明星食品	13	0	13	+ 3	+ 27.5%	13	+ 3	+ 27.5%
国内即席めん事業	89	0	89	△ 5	△ 5.0%	89	△ 5	△ 5.0%
低温・飲料事業	27	0	27	△ 1	△ 5.0%	27	△ 1	△ 5.0%
菓子事業	14	△ 2	16	△ 2	△ 12.8%	16	△ 2	△ 12.8%
国内非即席めん事業	41	△ 2	43	△ 4	△ 8.1%	43	△ 4	△ 8.1%
国内その他	6	0	6	△ 5	△ 45.1%	6	△ 5	△ 45.1%
国内事業 計	136	△ 2	138	△ 13	△ 8.7%	138	△ 13	△ 8.7%
米州地域	23	0	22	△ 31	△ 58.0%	25	△ 28	△ 52.7%
中国地域	13	0	13	△ 1	△ 4.9%	14	+ 0	+ 2.4%
アジア地域	17	0	17	△ 4	△ 20.3%	16	△ 5	△ 23.3%
EMEA地域	17	△ 0	17	△ 3	△ 16.8%	17	△ 4	△ 17.6%
海外事業 計	69	0	69	△ 39	△ 36.2%	72	△ 36	△ 33.5%
国内・海外事業 計	205	△ 2	207	△ 52	△ 20.2%	210	△ 49	△ 19.0%
その他連結調整	△ 1	△ 0	△ 1	△ 1	-	△ 1	△ 1	-
グループ関連費用	△ 32	-	△ 32	△ 7	-	△ 32	△ 7	-
既存事業 計	172	△ 2	174	△ 60	△ 25.5%	177	△ 57	△ 24.3%
新規事業	△ 13	△ 0	△ 13	△ 1	-	△ 13	△ 1	-
連結 計	158	△ 2	160	△ 60	△ 27.4%	163	△ 57	△ 26.1%

* 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づく

* 2025年度よりHDの本部費用の配賦基準と海外ロイヤリティ料率を変更したため前期の数字も遡及修正

事業の状況

国内即席めん事業

- 明星食品は主力商品中心に好調に推移するも、日清食品の売上減により、セグメント全体では増収減益

(億円)

FY25 売上収益	Q1	YoY	増減要因
日清食品	529	△4 △1%	カップめん : 「あっさりおだしがおいしいどん兵衛」シリーズ、「あっさりおいしいカップヌードル」シリーズが好調に推移したことに加えて、新商品「だし仕込 カップヌードル」シリーズなどが売上に貢献したものの、カップめん全体ではほぼ前年並み 袋めん : 「チキンラーメン」、「出前一丁」、「日清焼そば」が堅調に推移したものの、袋めん全体では減収
明星食品	116	+9 +8%	カップめん : 「一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズが好調に推移したことに加えて、「ぶぶか油そば」が大きく伸長 袋めん : 「チャルメラ」シリーズが新商品「チャルメラ油そば」の貢献もあり好調に推移
国内即席めん事業	646	+5 +1%	

() 内はコア営業利益率

FY25 コア営業利益	Q1	YoY	増減要因
日清食品	76 (14.3%)	△7 △9%	+) 即席カップライス製品の価格改定効果及び販売費用の効率的使用 等 △) 資材価格及び物流費の上昇 等
明星食品	13 (11.1%)	+3 +28%	+) 売上増加による利益増 △) 資材価格の上昇 等
国内即席めん事業	89 (13.8%)	△5 △5%	

国内非即席めん事業

- ラーメン類が好調な日清冷凍、シリアルが好調な日清シスコなどにより増収も、資材価格等上昇の影響により、事業全体で減益

(億円)

FY25 売上収益	Q1	YoY	増減要因	
低温・飲料事業	262	+7 +3%	チルド	+6% : 「麺の達人」「スープの達人」等のラーメン群好調に加え、CVS向け調理めんの販売も貢献
			冷凍	+10% : 「冷凍 日清中華 辣椒担々麺」「冷凍 日清中華 汁なし担々麺 大盛り」などラーメン類の好調に加え、新商品「冷凍 日清スパ王喫茶店」が貢献、価格改定効果も増収に寄与
			ヨーク	△12% : CVSでの販売低調、また睡眠ブームピークアウトにより「ピルクルミラクルケア」シリーズの販売も低調に推移
菓子事業	237	+7 +3%	シスコ	+5% : 「シスコーン」シリーズ、「ごろグラ」シリーズなどシリアルが好調、価格改定効果も増収に寄与
			ぼんち	+6% : 65周年を迎えた「ぼんち揚」を中心に大阪・関西万博のコラボ商品が好調
			湖池屋	+2% : 「ムーチョ」シリーズや「スコーン」シリーズが好調、価格改定効果も増収に寄与
国内非即席めん事業	499	+14 +3%		

() 内はコア営業利益率

FY25 コア営業利益	Q1	YoY	増減要因	
低温・飲料事業	27 (10.4%)	△1 △5%	チルド	増益 : 原価率上昇も売上増加により増益
			冷凍	減益 : 売上増加も原価率上昇等により減益
			ヨーク	減益 : 売上減少等により減益
菓子事業	16 (6.8%)	△2 △13%	シスコ	増益 : 資材価格等上昇も売上増加やマーケティング費用等の効率的な利用等により増益
			ぼんち	減益 : 売上増加も原価率上昇等により減益
			湖池屋	減益 : 売上増加も原価率上昇等により減益
国内非即席めん事業	43 (8.7%)	△4 △8%		

米州地域

- 米国の販売食数減が大きく影響し、セグメント全体で減収減益

(億円)

FY25 売上収益	Q1	YoY	増減要因	
米州地域	334	△86 △20%	米国	△29% : 引き続き一部エリアの店舗において数量減(為替影響 △13億円)
			メキシコ	△7% : 昨年度より数量は回復したものの、為替影響により円貨ベースでは減収(為替影響 △9億円)
			ブラジル	△11% : 前期末の流通在庫増により販売数量減。為替影響により円貨ベースでは減収 (為替影響 △22億円)

() 内はコア営業利益率

FY25 コア営業利益	Q1	YoY	増減要因	
米州地域	22 (6.7%)	△31 △58%	米国	減益 : 数量減に伴い減益(為替影響 △1億円)
			メキシコ	増益 : 資材価格上昇を数量増及び価格改定でカバーし増益(為替影響 △0億円)
			ブラジル	減益 : 資材価格上昇により減益も社内計画通りに着地(為替影響 △2億円)

国別の現地通貨ベース売上収益・数量の前年比

Q1 YoY	売上収益 (現地通貨ベース)	数量
米国	△24%	△20%台
メキシコ	+13%	+ 1 桁前半%
ブラジル	+4%	△ 1 桁半ば%

- 米国の売上収益の増減は、米国日清、明星USAの合計
- 数量は管理ベースで記載

中国地域

- 即席めんの販売増およびインオーガニック効果により、現地通貨ベースで増収増益

(億円)

FY25 売上収益	Q1	YoY	増減要因	
中国地域	167	+2 +1%	香港 他	: 増収 主力袋めんの販売数量回復とインオーガニック売上増による貢献 (為替影響 △5億円)
			大陸	: 増収 主力カップめんやプレミアム袋めんの販売数量増および内陸部への販路拡大 (為替影響 △8億円)

() 内はコア営業利益率

FY25 コア営業利益	Q1	YoY	増減要因	
中国地域	13 (7.6%)	△1 △5%	香港 他	: 増益 香港域内での即席めん販売増およびインオーガニック効果により増益 (為替影響 △0億円)
			大陸	: 減益 販売数量増も資材コスト増および販促費増により減益 (為替影響 △1億円)

国別の現地通貨ベース売上収益・数量の前年比

Q1 YoY	売上収益 (現地通貨ベース)	数量*
香港他	+8%	△1桁半ば%
大陸	+10%	+1桁前半%

* 数量は管理ベースで記載し、非即席めん事業を除く

** 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づくもの

*** 香港他にはベトナム事業 等を含む

2024年9月より「Gaemi Food」を連結子会社化し、韓国におけるスナック事業を開始

2024年12月より「ABC Pastry」を連結子会社化し、オーストラリアにおける冷凍食品事業を開始

2025年度よりHDの本部費用の配賦基準と海外ロイヤリティ料率を変更したため前期の数字も遡及修正

アジア地域

- 各国の販売数量減により、減収減益

売上額が多い順 (億円)

FY25 売上収益	Q1	YoY	増減要因	
アジア地域	51	△9 △16%	インド	: 減収 (為替影響 △1.8億円)
			タイ	: 減収 (為替影響 +0.4億円)
			シンガポール	: 減収 (為替影響 △0.3億円)
			インドネシア*	: 減収 (為替影響 △0.5億円)

() 内は持分法損益含まないコア営業利益率

FY25 コア営業利益	Q1	YoY	増減要因	
アジア地域	17 (6.5%)	△4 △20%	インド	: 減益 (為替影響 △0.0億円)
			タイ	: 減益 (為替影響 +0.1億円)
			シンガポール	: 減益 (為替影響 △0.0億円)
			インドネシア*	: 減益 (為替影響 +0.0億円)
			持分法適用会社	
			タイプレ	: 9億円 YoY △1億円、(為替影響 +0.6億円)
			NURC	: 5億円 YoY △0億円、(為替影響 △0.1億円)

* マレーシア事業含む

2025年度よりHDの本部費用の配賦基準と海外ロイヤリティ料率を変更したため前期の数字も遡及修正

EMEA地域

- 販売数量減より、減収減益。ただし、持分法利益の貢献により、コア営業利益はQ1社内計画超え

(億円)

FY25 売上収益	Q1	YoY	増減要因	
EMEA地域	55	△7 △11%	欧州日清	: 販売数量減により減収（為替影響 △2億円）

() 内は持分法損益含まないコア営業利益率

FY25 コア営業利益	Q1	YoY	増減要因	
EMEA地域	17 (1.3%)	△3 △17%	欧州日清	: 減益（為替影響 △0億円）
			持分法適用会社	
			マルベン	: 1億円 YoY △4億円、（為替影響 -1億円）
			プレミアフーズ	: 15億円 YoY +4億円、（為替影響 +0億円）

Appendix

2025年度計画

2025年度 通期連結業績予想

- 売上収益は2024年度比+4.3%、既存事業コア営業利益は2024年度比+0.1%、836億円を計画

		2024年度比
売上収益	8,100 億円	+4.3%

既存事業コア営業利益	836 億円	+0.1%
------------	--------	-------

新規事業投資を既存事業コア営業利益5~10%で実施

営業利益	756 ~ 796 億円	+1.7~+7.0%
------	--------------	------------

親会社の所有者に帰属する

当期利益	530 ~ 560 億円	△3.7~+1.8%
------	--------------	------------

EPS	180 ~ 191 円/株	
-----	---------------	--

2025年度から実施の管理会計変更影響

- 海外事業の成長など、グループ事業構造の変化に対応するため、25年度よりHDの本部費用の配賦基準と海外ロイヤリティ料率の変更を実施。2024年度実績を配賦基準変更後に組み替え、前年度との比較可能性を担保する

配賦基準変更前

億円	2024年度 実績（配賦基準変更前）		
	売上収益	コア営業利益	コア営業利益率
日清食品	2,388	306	12.8%
明星食品	454	31	6.8%
国内即席めん事業	2,842	337	11.9%
低温・飲料事業	1,013	87	8.6%
菓子事業	924	58	6.2%
国内非即席めん事業	1,938	144	7.5%
国内その他	78	11	14.0%
国内 計	4,857	492	10.1%
米州地域	1,686	190	11.3%
中国地域	735	83	11.3%
アジア地域	233	80	34.4%
EMEA地域	255	90	35.3%
海外 計	2,908	444	15.3%
国内・海外 計	7,766	936	12.1%
既存事業 計	7,766	835	10.8%
連結 計	7,766	769	9.9%

配賦基準変更後

億円	2024年度 実績（配賦基準変更後）		
	売上収益	コア営業利益	コア営業利益率
日清食品	2,388	339	14.2%
明星食品	454	31	6.8%
国内即席めん事業	2,842	370	13.0%
低温・飲料事業	1,013	86	8.5%
菓子事業	924	58	6.2%
国内非即席めん事業	1,938	144	7.4%
国内その他	78	18	23.5%
国内 計	4,857	532	10.9%
米州地域	1,686	161	9.5%
中国地域	735	83	11.3%
アジア地域	233	80	34.4%
EMEA地域	255	87	34.2%
海外 計	2,908	411	14.1%
国内・海外 計	7,766	943	12.1%
既存事業 計	7,766	835	10.8%
連結 計	7,766	769	9.9%



2025年度 セグメント別業績予想（配賦基準変更後）

(単位：億円)	2025年度 予想	売上収益（IFRS）			コア営業利益（Non-GAAP）			
		2024年度実績			2025年度 予想	2024年度実績（配賦基準変更後）		
		売上収益	前期比			コア営業利益	前期比	
為替前提	USD 145.00円	USD 152.58円	増減額	増減率	USD 145.00円	USD 152.58円	増減額	増減率
日清食品	2,525	2,388	+ 137	+ 5.7%	343	339	+ 4	+ 1.1%
明星食品	460	454	+ 6	+ 1.4%	32	31	+ 1	+ 4.2%
国内即席めん事業	2,985	2,842	+ 143	+ 5.0%	375	370	+ 5	+ 1.4%
低温・飲料事業	1,055	1,013	+ 42	+ 4.1%	86	86	+ 0	+ 0.0%
菓子事業	975	924	+ 51	+ 5.5%	60	58	+ 2	+ 4.1%
国内非即席めん事業	2,030	1,938	+ 92	+ 4.8%	146	144	+ 2	+ 1.7%
国内その他	95	78	+ 17	+ 21.9%	12	18	△ 6	△ 34.6%
国内事業 計	5,110	4,857	+ 253	+ 5.2%	533	532	+ 1	+ 0.2%
米州地域	1,700	1,686	+ 14	+ 0.9%	173	161	+ 12	+ 7.7%
中国地域	775	735	+ 40	+ 5.5%	82	83	△ 1	△ 1.6%
アジア地域	245	233	+ 12	+ 5.3%	80	80	△ 0	△ 0.1%
EMEA地域	270	255	+ 15	+ 5.7%	92	87	+ 5	+ 5.4%
海外事業 計	2,990	2,908	+ 82	+ 2.8%	427	411	+ 16	+ 3.8%
国内・海外事業 計	8,100	7,766	+ 334	+ 4.3%	960	943	+ 17	+ 1.8%
その他連結調整	-	-	-	-	△ 124	△ 1	△ 16	-
グループ関連費用	-	-	-	-		△ 106		-
既存事業 計	8,100	7,766	+ 334	+ 4.3%	836	835	+ 1	+ 0.1%
新規事業	-	-	-	-	△ 80	△ 66	△ 14	-
					～ △ 40		～ + 26	-
連結 計	8,100	7,766	+ 334	+ 4.3%	756	769	△ 13	△ 1.8%
					～ 796		～ + 27	～ + 3.4%

為替一定ベース 前期比		
	売上収益	コア営業利益
米州地域	+ 8%	+ 15%
中国地域	+ 12%	+ 3%
アジア地域	+ 13%	+ 2%
EMEA地域	+ 11%	+ 8%
海外 計	+ 10%	+ 8%

為替一定ベースの2025年度連結損益（2024年度期中平均レート 1 \$ 152.58円 で試算）

既存事業 計	8,300	7,766	+ 534	+ 6.9%	855	835	+ 20	+ 2.3%
--------	-------	-------	-------	--------	-----	-----	------	--------

米州地域および海外地域全体の売上収益・数量 前期比

25年度 期初計画
 ベース商品 : +1桁前半%
 プレミアム商品 : +10%台

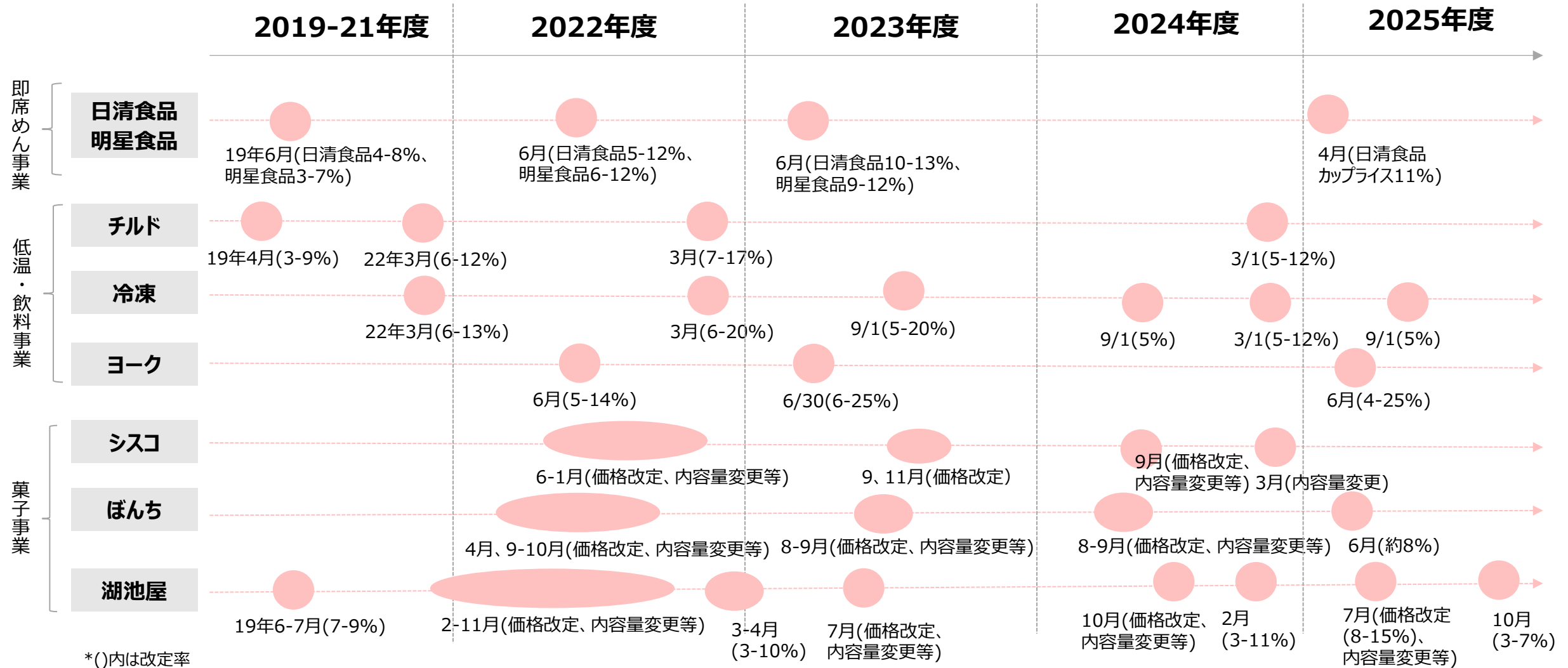
YoY	2024年度								2025年度			
	Q1(4-6月)		Q2(7-9月)		Q3(10-12月)		Q4(1-3月)		Q1 (4-6月)		2025年度 通期 期初計画	
	売上収益 現地通貨 ベース	数量	売上収益 現地通貨 ベース	数量	売上収益 現地通貨 ベース	数量	売上収益 現地通貨 ベース	数量	売上収益 現地通貨 ベース	数量	売上収益 現地通貨 ベース	数量
米国	+1%	+1桁前半%	+4%	+1桁前半%	△8%	△1桁後半%	△4%	△1桁半ば%	△24%	△20%台	+1桁前半%	+1桁前半%
メキシコ	△6%	△10%台	+0%	△1桁半ば%	△2%	△10%台	+7%	+1桁前半%	+13%	+1桁前半%	+20%台	+10%台
ブラジル	+31%	+20%台	+0%	△1桁半ば%	+18%	+10%台	+38%	+30%台	+4%	△1桁半ば%	+10%台	+1桁前半%
海外全体	+6%	+1桁後半%	+2%	横ばい圏	+4%	+1桁前半%	+9%	+1桁後半%	△5%	△1桁後半%	+10%	+1桁半ば%

ご参考
**2025年度
 通期計画**
 (計画為替ベース)

YoY	売上収益 (計画為替ベース)
米国	△1桁前半%
メキシコ	+1桁後半%
ブラジル	+1桁前半%

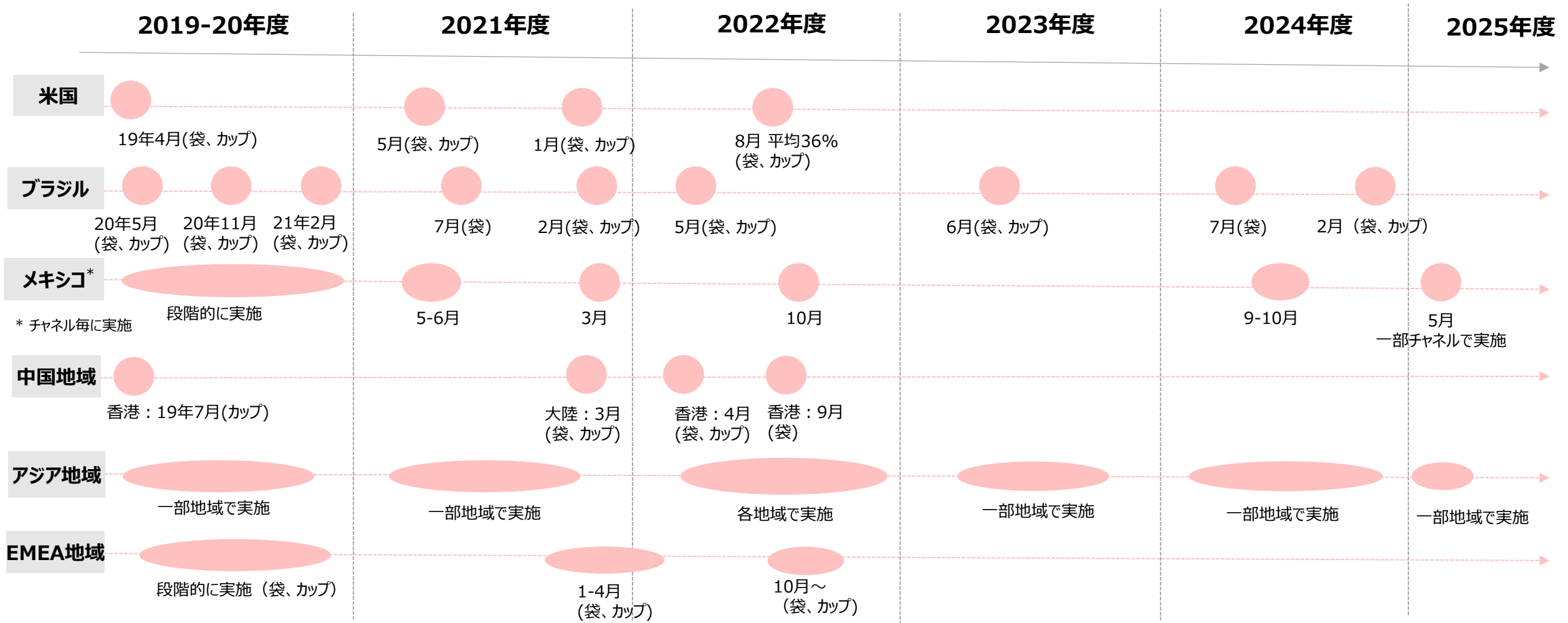
* 数量は管理ベースで記載
 * 米国の売上収益の増減は、米国日清、明星USAの合計

主な価格改定推移（国内）



*()内は改定率
 *2025年8月時点

主な価格改定推移（海外）



*2025年8月時点

本資料に掲載しております当社グループの計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、「市場における価格競争の激化」、「事業環境をとりまく経済動向の変動」、「為替の変動」、「資本市場における相場的大幅な変動」他、様々なリスク及び不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきください。

また、本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさっていただきますようお願い申し上げます。

- このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ウェブサイト「決算短信・補足資料・決算説明会関連資料」に掲載しています
<https://www.nissin.com/jp/ir/library/>
- この資料の金額は、千円単位で算出し、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等が一致しない場合があります
- 当該資料の決算期は原則として、20YY年4月1日からの1年間を「20YY年度」または「YY年度」とします
- 中国地域の実績は、日清食品ホールディングス連結の方針に基づくもので、香港日清の開示とは異なる可能性があります。また、中国地域の戦略、それに基づく各種目標ならびに業績予想は日清食品ホールディングスが独自に設定したものです



日清食品ホールディングス株式会社